

令和 7 年11月市議会定例会 環境経済委員会資料

第192号議案 令和 7 年度 長崎市一般会計補正予算（第 4 号）

目 次

(予算説明書頁) (資料頁)

[2 款 総務費]

2 ・ 1 ・ 22 世界遺産推進費

≪歳出補正≫

【補助】世界遺産保存整備事業費補助金

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」 22～23 2～7

文化観光部
令和 7 年 1 1 月

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
22 ～ 23	2 総務費	1 総務 管理費	22 世界遺産 推進費	1-1	【補助】世界遺産保存整備事業費補助金 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」	千円 ▲65,757

1 概要

世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産及び世界遺産関連資産である国の重要文化的景観「長崎市外海の石積集落景観」の重要な構成要素を適切に保存管理するため、民間所有者が「石積みネリベイ建物」を、石積集落景観を紹介するガイダンス機能を有する施設に改修するための整備工事に対する国・県・市による補助を行うこととしていた。

当初、民間所有者は令和6年度の補助事業として調査及び実施設計を完了し、引き続き令和7年度の補助事業として整備工事に着手する計画であった。しかし、整備方針の検討に不測の日数を要したこと等により、令和6年度中に実施設計を完了できなかった。

また、令和7年度においても整備工事にかかる国・県への補助金交付申請が期限までに間に合わず、スケジュールの見直しが必要となったため、令和7年度の補助金交付予定額を全額減額するもの。



【位置図(外海地区 外海の出津集落)】

2 減額補正の内容

(1) 減額する事業費

総事業費 79,706千円に対し、国・県の間接補助を含む 65,757千円(補助率82.5%)を補助する予定であったが、これを全額減額する。

(事業費内訳)

[単位:千円]

総事業費	市補助(82.5%) (国県の間接 補助を含む)	国補助 (65%)	県補助 (14%)	市補助 (21%)	所有者負担 (17.5%)
79,706	65,757	42,742	9,206	13,809	13,949

(2) 減額補正の経緯

令和6年度の補助事業として調査及び実施設計を完了し、引き続き令和7年度の補助事業として整備工事に着手する予定であった。

しかし、令和7年1月、国から当初想定していなかった整備方針案の比較検討資料の作成を指示されたことにより、不測の日数を要し、その後の工程に遅れが生じたほか、実施設計の成果品(設計図書)の不備等により、令和6年度中に実施設計を完了できなかった。

実施設計が完了次第、令和7年度中に整備工事に係る国への補助金交付申請を行う予定としていたが、令和6年度の国補助の実績額が0となった経緯や再発防止策について国と協議を続けていたことと、民間団体が行う実施設計の完了に令和7年10月まで時間を要したことにより、令和7年度の国への補助金交付申請期限(令和7年9月)に間に合わなかったため、令和7年度の補助金交付予定額を全額減額する。

【経緯】

年	月	内容	国庫補助金	所有者への補助金
令和6年度	4月	国から県を通して市に対し、令和6年度実施設計に係る補助金交付決定	R6交付決定	
	7月	市から所有者に対し、令和6年度実施設計に係る補助金交付決定		R6交付決定
	8月	民間所有者が、「調査及び実施設計業務委託契約」を締結		
	9月	附属機関「長崎市外海の石積集落景観整備活用委員会」で整備方針を了承		
	11月	民間所有者が、設計に着手		
	12月	国・県・市・民間所有者でオンライン協議を実施し、調査結果及び整備方針案を説明 ※ 市は所有者に対し、年度内完了及び予算繰越の可否を確認し繰越の必要なしと判断		R6概算払い
	1月	国・県・市でオンライン協議を実施 国から市に対し、現況1階建てを3階建てとする方針について、整備活用委員会です承を得るよう指示		
	2月	同委員会を開催し整備方針案を了承 令和7年度整備工事に係る当初予算案を提出		
	3月	民間所有者が市に、令和6年度実施設計に係る実績報告書及び成果物(実施設計図書抜粋)を提出 国への報告時に照明設備や立面図の不足を指摘され、再提出を求められる。	R6実績報告	R6実績報告
令和7年度	4月	不足資料を修正のうえ再提出するも、資材数量の記載不足等を再指摘された。全ての実施設計図書の提出を求められるも、所有者は完了できず、令和6年度実施設計に係る国庫補助金が認められなかったため、実績額0として処理し、所有者へ概算払いをしていた補助金の戻入を受けた。	・R6実績報告再提出 ・R6国庫補助金認められず	・R6所有者への補助金認められず ・R6市費戻入
	4月以降	令和7年度の国庫補助に向けて、令和6年度の国庫補助が実績額0となった経緯、再発防止策について国と協議を続けた。 令和7年10月28日に所有者から実施設計図書を受領したが、令和7年度の国庫補助申請を、9月の申請期日までに提出できなかったため、令和7年度予算の減額補正に至る。		

3 補助事業の内容

(1) 外海地区におけるフィールドミュージアム構想及び整備補助の必要性

「石積みネリベイ建物」の民間所有者は、外海地区におけるド・ロ神父と地域の人々が残した歴史的遺産を歩いて巡るとともに、神父の精神を受け継ぐシスターたちの暮らしの一部を体験することを通して、ド・ロ神父の歩みを振り返り、その精神を感じることができるフィールドミュージアムをつくる構想を掲げている。

民間所有者が整備を行う「石積みネリベイ建物」は、集落の入口に位置し、路線バス・コミュニティバスのバス停前にある。また、「石積みネリベイ建物」は、建物の外壁そのものの石積みに加え、周辺に多様な石積み遺構があることから、ガイダンス施設として整備することにより、来訪者が外海の石積集落景観に対する理解を深めるとともに、これまでに補助事業で整備した施設を含め、外海地区内の周遊を促進することが期待される。

これまでに補助事業で整備した主な施設



大平作業場跡(整備前)



大平作業場跡(整備後)



フィールドミュージアムの全体像(民間所有者(案)に一部加筆)

3 補助事業の内容（つづき）

(2) 「石積みネリベイ建物」概要

- ・明治30年頃建設。当初は3階建てだったが、改造が進み、現在は1階のみ。
- ・1階部分の四方が厚いネリベイで囲われている。
- ・ド・ロ神父の影響が強く感じられる建造物であり、ド・ロ神父の仕事場があったとも言われている。



現状（外観）

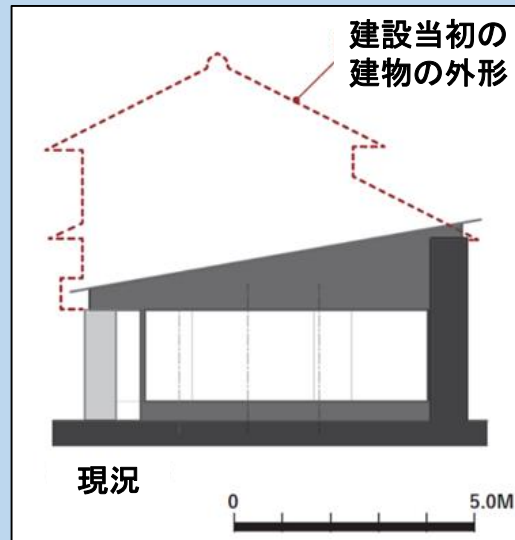


現状（内観）

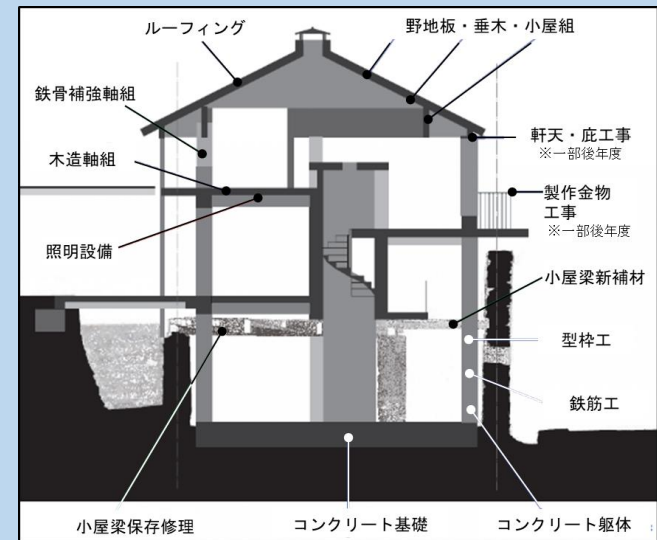
(3) ガイダンス施設の整備方針(案)

- ・建設当初の石積みや1階天井梁を残しつつ、活用施設としてガイダンス機能を新たに付加するうえで、老朽化している建設当初の石積み等をいかに保存するか、また建物外観を現在の1階建てとするか、建設当初の3階建てとするか、「整備活用委員会」にて比較検討が行われた。

➡「委員会」から、活用に資する空間を確保するため、建設当初の3階建てとする整備方針(案)の了承を得た。



建設当初と現況の建物の外形比較
(断面図)



整備方針（案）
(断面図)

4 変更後のスケジュール

当初は令和7年度から令和9年度までの3か年を予定していたが、スケジュールの見直しが必要となったことから、令和8年度から令和10年度までの3か年に変更することとし、令和8年度の補助金交付申請に向けて、県を通じて、国へ事業計画書を再提出しております。



5 財源内訳

区分	事業費 ①	予算額 ②	財 源 内 訳					事業者 負担額 ①－②
			※ ¹ 国庫 支出金	※ ² ※ ³ 県 支出金	※ ⁴ 地方債	その他	一般財源	
当初予算	千円 81,706	千円 67,757	千円 42,742	千円 11,206	千円 12,400	千円 －	千円 1,409	千円 13,949
11月補正	千円 ▲79,706	千円 ▲65,757	千円 ▲42,742	※ ² 千円 ▲9,206	千円 ▲12,400	千円 －	千円 ▲1,409	千円 ▲13,949
補正後	千円 2,000	千円 2,000	千円 －	※ ³ 千円 2,000	千円 －	千円 －	千円 －	千円 －

- ※¹ 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 補助率 65%
 ※² 指定文化財保存整備事業補助金 補助率 14%
 ※³ 世界遺産保存・活用等整備事業補助金 補助率 100%
 ※⁴ 過疎対策事業債 充当率 100% (交付税措置率70%)